水冷カメラハウジング
TY-260FB シリーズ

取扱説明書

池上通信機株式會社

DN-16577-1

目　次

1 はじめに …… 1
1-1 使用上のご注意 …… 1
1-2 特徴 …… 1
1-3 製品型名体系 …… 1
1-4 構成 …… 2
2 各部の名称とはたらき …… 3
2-1 前面、後面 …… 3
2-2 側面 …… 5
3 修理に出す前に …… 6
4 カメラ取付 …… 7
5 仕　様 …… 8
5-1 一般仕様 …… 8
5-2 オプション形名 …… 8
6 接続図 …… 9
7 外観図 …… 10

1 はじめに

ご使用になる前に、本取扱説明書をよく読んで正しくご使用下さい。

1-1使用上のご注意

本器には、次の仕様の冷却水を供給してください。

① 流量：１３ﾘｯﾄﾙ/ｍｉｎ

② 水圧：２９４ｋＰａ

③ 温度：２５℃以下

本器には、次の仕様のｴｱｰ（ｴｱｰﾊﾟｰｼﾞ使用時）を供給してください。

① 風量：６０ﾘｯﾄﾙ/ｍｉｎ

② 水圧：２９４ｋＰａ

③ 温度：２５℃以下

1-2特徴

① 水冷方式なので周囲温度の高い場所での使用に適しています。

② 熱反射ｶﾞﾗｽ（ｵﾌﾟｼｮﾝ）の使用で輻射熱によるｶﾞﾗｽ前温度が120℃まで使用できます。

③ ｴｱｰﾊﾟｰｼﾞ方式（ｵﾌﾟｼｮﾝ）により塵の多い場所などで視界を確保でき、熱反射ｶﾞﾗｽ（ｵﾌﾟｼｮﾝ）との併用により、輻射熱によるｶﾞﾗｽ前温度が150℃まで使用できます。

1-3製品型名体系

TY－２６０FB A R － □ － □

⑤特殊仕様番号(１～　)

④取付形式(自立：無表示／吊下：N)

③熱反射ガラス(オプション)

②エアーパージ(オプション)

①標準形名
F：ファン(標準装備)
B：遮熱板(標準装備)

（１）取付形式は、標準状態(自立)が無表示、逆取付（吊下）の場合は「N」

（２）オプションなしの場合はその項目は無表示

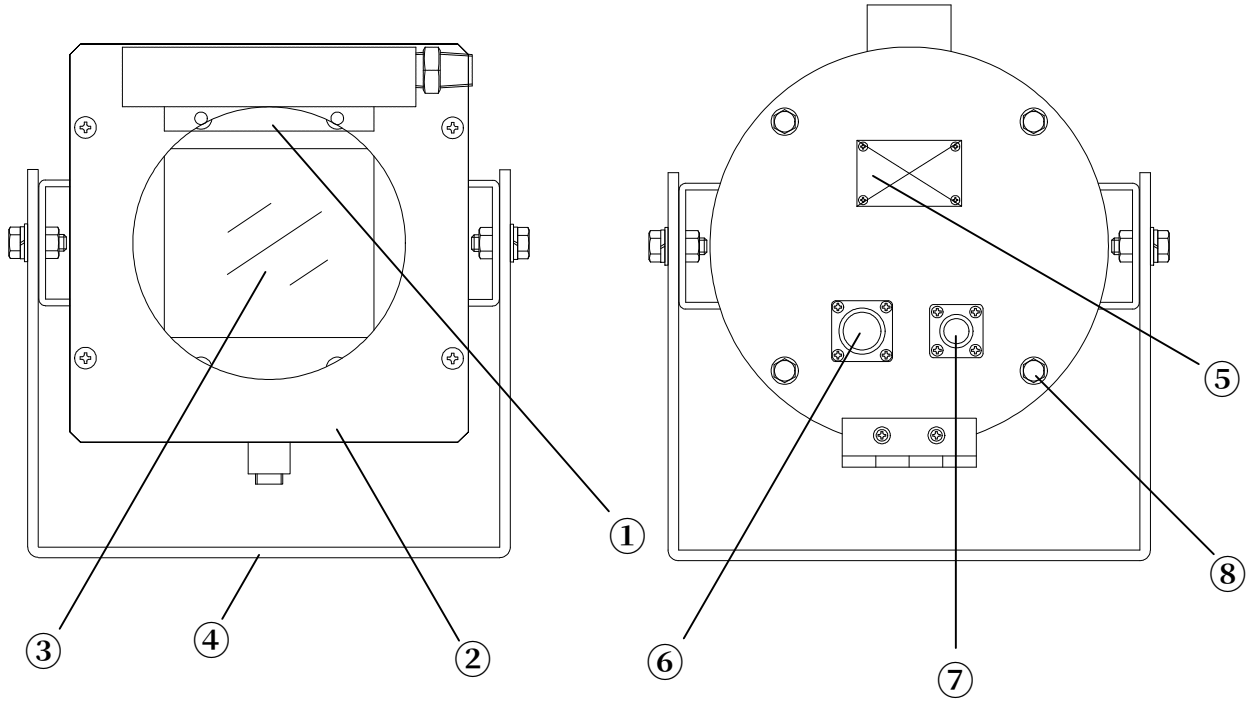
1-4構成

標準構成

① TY-260FB 本体	1
② 電源ｺﾈｸﾀﾌﾟﾗｸﾞ (NJW-207-PF12)	1
③ 映像ｺﾈｸﾀﾌﾟﾗｸﾞ (N-P-5)	1
④ 取扱説明書	1

2 各部の名称とはたらき

2-1前面、後面



① エアーパージ（オプション）
エアーパージです。この部分よりエアーを吹き出し前面パネルを塵などを付着させないようにします。

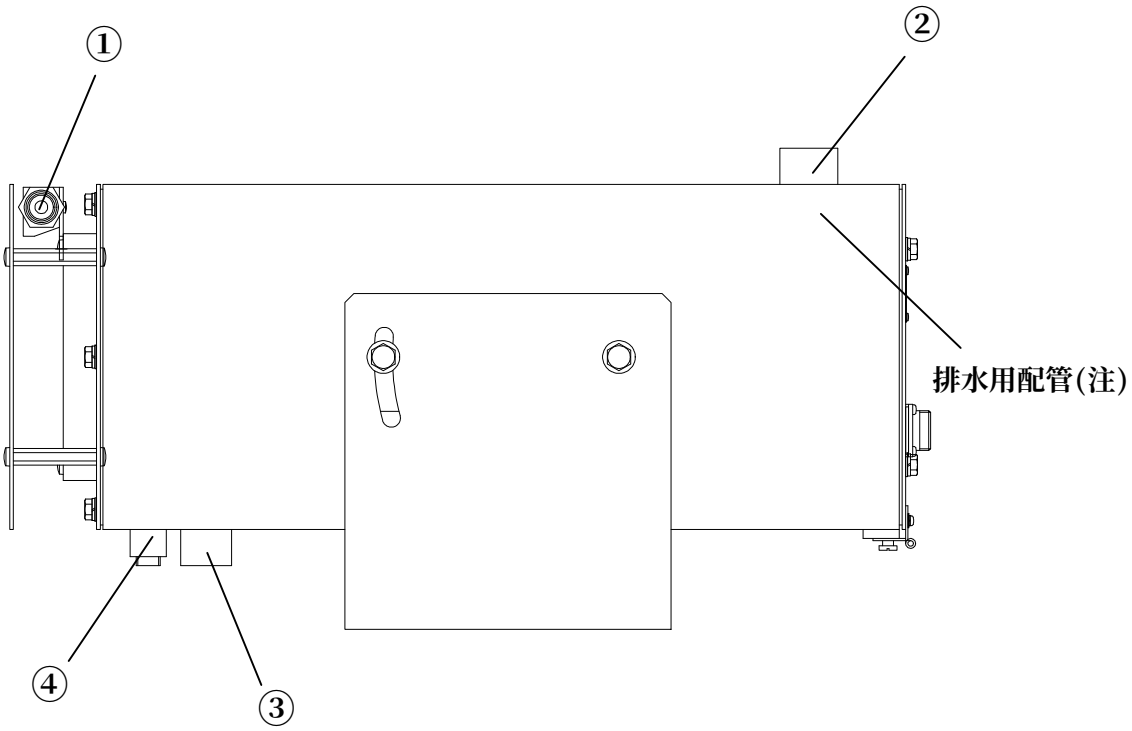
② 遮熱板
輻射熱を防ぎ、ハウジング内温度上昇を抑える働きがあります。

③ 前面ガラス
輻射源温度：最大３００℃
輻射源温度：最大６００℃（熱反射ガラス取付時）
輻射源温度：最大８００℃（熱反射ガラス、エアーパージ取付時）

④ 機器取付台
上：５°
下：１５°
右：４５°
左：４５°
（各方向センターより）の調節が可能です。

⑤ 装置銘板
機器名称、シリアルＮｏ．を表示しています。
⑥ 制御入力コネクタ（ＮＪＷ－２０７－RM）
レンズ制御、電源を入力します。
⑦ 映像出力コネクタ（Ｎ－Ｒ）
映像を出力します。
⑧ 後面パネル取付ネジ
後面パネルを開閉する時に使用します。

2-2側面



① エアパージ用エアー入口
Ｒ３／８の管用テーパーネジになっています。
風量：６０ﾘｯﾄﾙ／ｍｉｎ[ＡＮＲ]
圧力：２９４ｋＰａ
温度：２５℃以下
のエアーを供給してください。

② 排水口
Ｒｃ３／４の管用テーパーネジ（メネジ）になっています。
（注：配管部は含みません。）

③ 給水口
Ｒｃ１／２の管用テーパーネジ（メネジ）になっています。
流量：１３ﾘｯﾄﾙ／ｍｉｎ
水圧：２９４ｋＰａ
温度：２５℃以下
の冷却水を供給してください。

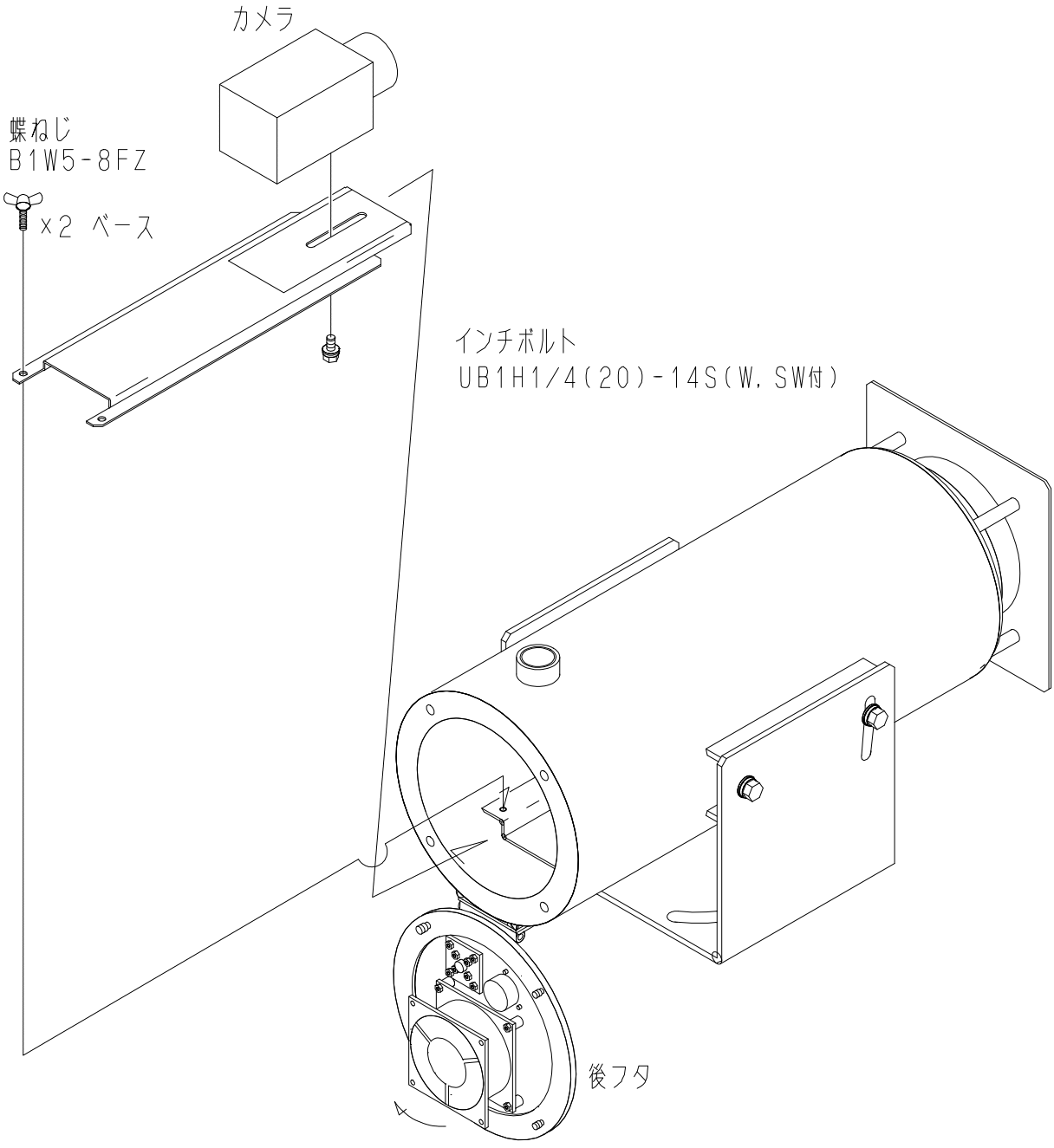
④ ドレーン
冷却水の水抜き穴です。

3 修理に出す前に

本ハウジングが正常に動作しないときや異常の時は、修理に出す前に以下の項目をチェックして下さい。

症状	確認して下さい	対処
● カメラ映像が出力されない	● プラグがカメラ映像コネクタから抜けていませんか？ ● プラグが映像出力コネクタから抜けていませんか？ ● カメラ電源スイッチが「ＯＦＦ」になっていせんか？	● プラグをカメラ映像コネクタに差し込んで下さい ● プラグを映像出力コネクタに差し込んで下さい ● カメラ電源スイッチを「ＯＮ」にして下さい
● カメラ電源が入らない	● カメラ電源プラグがコンセントから抜けていませんか？ ● カメラ電源スイッチが「ＯＦＦ」になっていせんか？ ● プラグが制御入力コネクタから抜けていませんか？	● カメラ電源プラグをコンセントに差し込んで下さい ● カメラ電源スイッチを「ＯＮ」にして下さい ● プラグが制御入力コネクタに差し込んで下さい

4 カメラ取付



1．ベースにカメラをインチボルトで固定する
2．カメラハウジング本体にベースを入れ、蝶ねじで固定する
3．最後に後フタをしめる

5 仕　様

5-1一般仕様

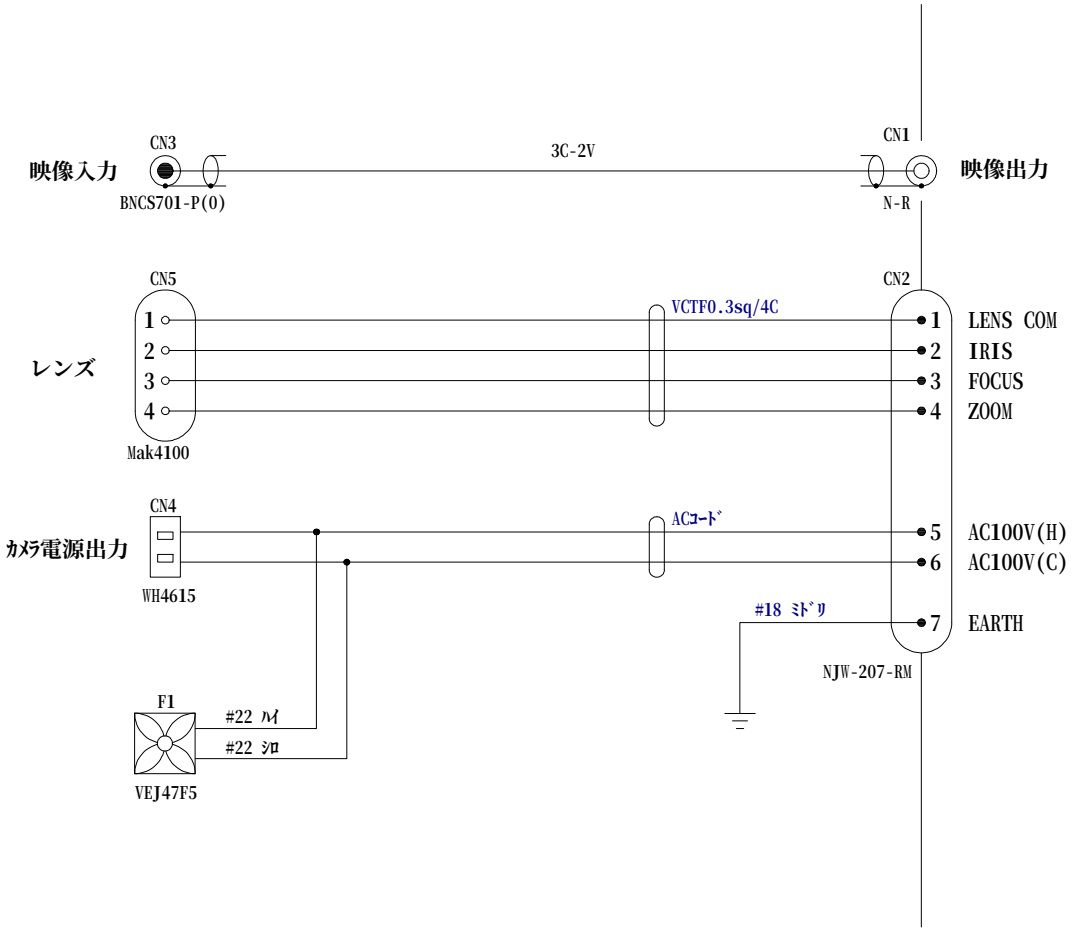
(1)	適用場所	周囲温度の高い場所
(2)	適用ｶﾒﾗ	ICD-878 および同等寸法以下品
(3)	適用ﾚﾝｽﾞ	J10×10REA-IA-Ⅱおよび同等寸法以下品
(4)	周囲温度	最大 80℃
(5)	輻射源温度	最大 300℃
		最大 600℃（熱反射ｶﾞﾗｽ使用時）
		最大 800℃（熱反射ｶﾞﾗｽ，ｴｱﾊﾟｰｼﾞ使用時）
		（ｴｱｰﾊﾟｰｼﾞだけの使用は不可）
(6)	流水量	約 13 ﾘｯﾄﾙ/min（圧力：294kg/cm^2，冷却水 25℃以下）
(7)	ｴｱｰﾊﾟｰｼﾞ風量※	約 60 ﾘｯﾄﾙ/min(ANR)（圧力：294kg/cm^2，ｴｱｰ温度 25℃以下）
(8)	材　質	鋼板
(9)	塗装色	ﾏﾝｾﾙN6.5 半ﾂﾔ
(10)	外形寸法	外観図参照
(11)	質　量	約 20kg

※　(7)項の風量はｴｱﾊﾟｰｼﾞ使用時のみ

5-2オプション形名

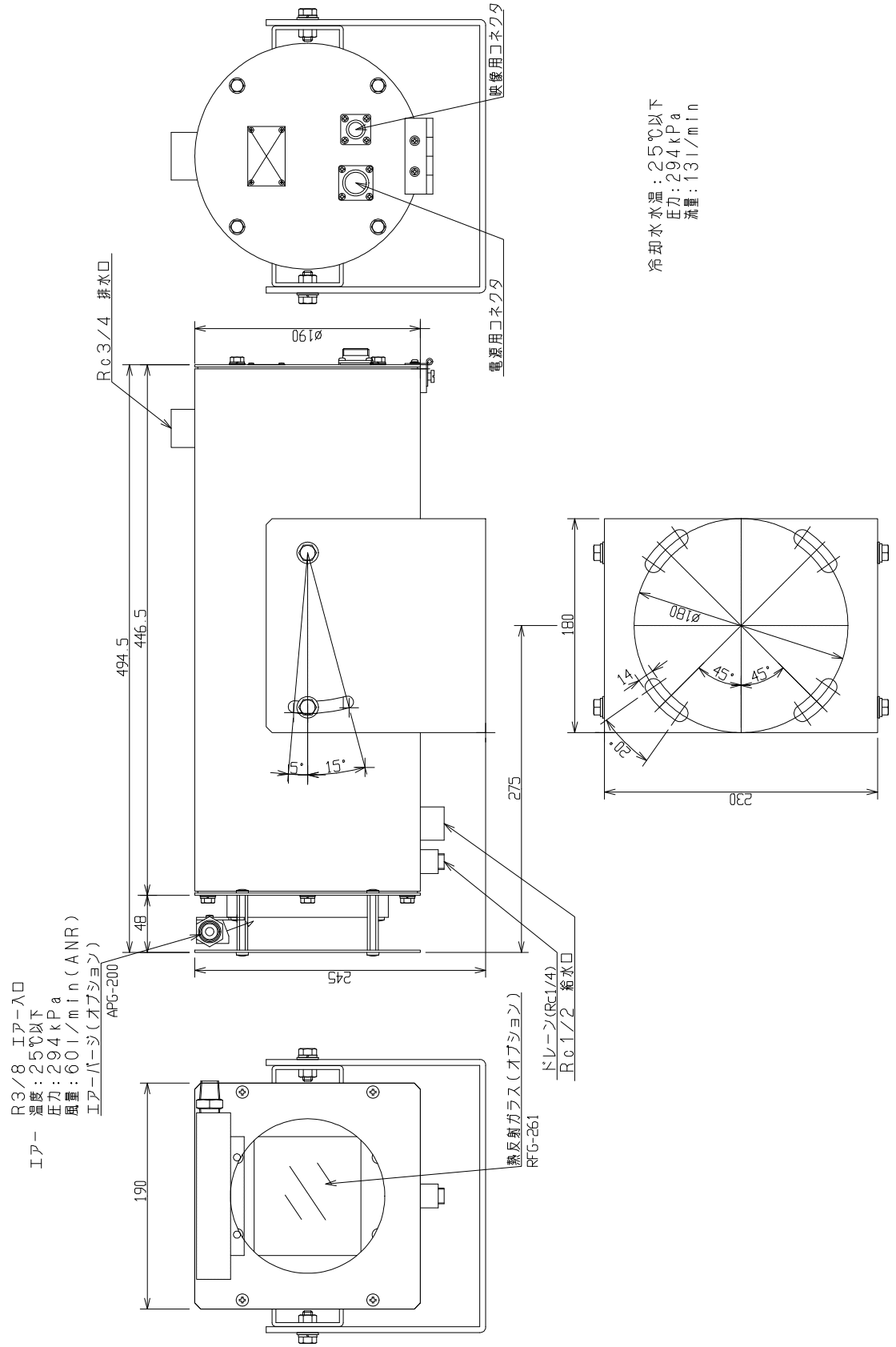
(1)	エアーパージ	ＡＰＧ－２００
(2)	熱反射ガラス	ＲＦＧ－２６１

6 接続図



C4－711021－01

7 外観図



K3－711201